

令和6年度事業計画書

令和6年9月1日から

令和7年8月31日まで

1. 第73回学術総会の開催

会期：2024年10月14日（月）～10月15日（火）

会場：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター

学会長：JA新潟厚生連 佐渡総合病院 病院長 佐藤賢治

テーマ：多職種で紡ぐ地域医療の未来 ～超少子高齢社会への提言～

(1) 学会長講演

「地方での Well-being に向けて ～佐渡ヶ島の挑戦～」

佐渡総合病院 病院長 佐藤賢治

(2) 特別講演

「私たちが目指す近未来の医療・介護・ヘルスケアとは」

慶應義塾大学医学部整形外科 教授 中村雅也

(3) 教育講演

①「行動経済学から多職種連携の実践を考える」

国際医療福祉大学大学院 医療福祉経営専攻 教授／

一般社団法人日本医療戦略研究センター 代表理事 角田圭雄

②「地域における協働・共創を実現するための総働 –小規模多機能自治の実践から」

IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所] 代表 川北秀人

(4) 文化講演

「Sakeology –新潟から世界へ広がる日本酒学–」

新潟大学日本酒学センター 副センター長 平田 大

(5) 金井賞受賞講演

「環境にやさしい農業の取り組みについて

～佐渡米生産のあゆみと朱鷺と暮らす郷認証制度について～」

朱鷺と暮らす郷づくり推進協議会 会長 磯部健一郎

(6) シンポジウム

①多職種連携の実践 ～骨折リエゾンサービス：FLS～

②未来に向けた病院事務職

(7) 特別企画

①「少子・超高齢社会の Well-being づくり 佐渡ヶ島からの発信」

②「太鼓を用いた Well-being 体験セミナー」

③「佐渡における企業との協働」

(8) 特別研究プロジェクト企画

①農薬中毒部会「農薬中毒部会からの報告」

- ②農機具災害部会「農機具災害部会からの報告」
 - ③地域医療・多職種協働部会「地域医療・多職種協働に向けた日本農村医学会の取り組み」
 - ④農村の生活習慣病部会「農業・農村の特性に着目した介護予防コホート研究の取り組み」
- (9) 一般演題
- (10) 臨床研修医セッション
- (11) ランチョンセミナー

2. 令和6年度JA共済連委託研究事業の実施

- (1) 日本人1型糖尿病患者の生活習慣、食事、運動、睡眠、QOLに関する研究
主任研究者：佐藤淳子（順天堂大学大学院 代謝内分泌内科学 准教授）
- (2) ハイリスク糖尿病性腎症における多職種協働透析予防指導前後の Δ eGFR改善に関する因子の検討
主任研究者：島 孝佑（厚生連高岡病院 糖尿病・内分泌代謝内科 診療部長）
- (3) 腸内細菌叢解析による乳幼児肛門周囲膿瘍の病因究明
主任研究者：相吉 翼（土浦協同病院 小児外科 医師）
- (4) 認知症発症リスクは農村的地域への居住か、農業か従事か？：縦断研究
主任研究者：LINGLING(千葉大学予防医学センター 社会予防医学部門 特任研究員)
- (5) 高齢期のギアチェンジ期において、継続的な農業従事はどのように貢献できるか
主任研究者：山崎 雅之(島根大学 人間科学部 人間科学科 教授)
- (6) 農業活動を介護予防・健康維持の資源として活用するための要件の検討
主任研究者：秋山明子(名古屋市立大学大学院 看護学研究科 教授)

3. 特別研究プロジェクト事業の実施

「農薬中毒部会」、「農機具災害部会」、「農村の生活習慣病部会」において、データベースの充実など調査研究事業を引き続き実施する。「地域医療・多職種協働部会」においては、当学会への発表・論文・研究成果から地域医療・多職種協働に関する研究を行なう。

また、本学会の農機具災害部会と全国農業協同組合中央会(JA全中)が中心となって、平成22年5月に設立した「全国農作業事故防止対策連絡協議会」の活動に対して、引き続き協力・支援し、さらに、農機具災害部会が中心となって、農作業安全対策等において韓国との交流を促進する。

4. 機関誌の発行

機関誌「日本農村医学会雑誌」の内容の充実と年6回の定期発行に努めるとともに、国際農村医学会雑誌と統合した英文誌(Journal of Rural Medicine)は、年4回の定期発行（オンライン発行）に努める。

5. ホームページの充実

対外広報活動の一環として、令和5年度にリニューアルしたホームページの内容充実および利用促進を図る。

6. 地方会との連絡連携の強化

日本農村医学会地方会との連携および組織の拡充強化を図る。

7. 関係学会ならびに関係研究機関との交流
各種学会ならびに関係機関との交流を促進する。
8. 国際農村医学会との関わり
現実的な運営を行うために変更した IARM 定款に基づき、理事会の開催調整や学会誌機能を継続する。
9. 日本農村医学会賞の授与
本学会の研究において顕著な功績をあげた会員または本学会の発展に大きく貢献した会員に対し、日本農村医学会賞を授与する。
10. 日本農村医学会金井賞の授与
農村の保健・医療の向上に顕著な功績をあげた個人または団体に対し、金井賞を授与する。
11. 日本農村医学会研究奨励賞の授与
「日本農村医学会雑誌」および英文誌(Journal of Rural Medicine)に掲載した優秀な研究論文に対し、研究奨励賞を授与する。
12. 日本農業新聞賞に係る候補者(団体)の推薦
農村の保健・医療・福祉の向上に寄与する研究・活動を行った個人または団体を、日本農業新聞賞の候補として(株)日本農業新聞へ推薦する。
13. JA 全厚連会長賞に係る候補者の推薦
地域医療に貢献した厚生連所属の医師を、JA 全厚連会長賞の候補として全国厚生農業協同組合連合会へ推薦する。
14. 農村医学に関する統計・資料の収集
農薬中毒、農機具災害および農村の生活習慣病に関する情報の収集・提供に努める。